

JF-IETF-RFC3558

EVRC と SMV の RTP ペイロード形式

RTP Payload Format for
Enhanced Variable Rate Codecs (EVRC)
and Selectable Mode Vocoders (SMV)

第 1.0 版

2009 年 5 月 27 日制定

社団法人

情報通信技術委員会

THE TELECOMMUNICATION TECHNOLOGY COMMITTEE

本書は、（社）情報通信技術委員会が著作権を保有しています。
内容の一部又は全部を（社）情報通信技術委員会の許諾を得ることなく複製、転載、改変、転用及びネットワーク上での送信、配布を行うことを禁止します。

目次

<参考>	4
1. 標準の概要	5
2. 本標準で規定する内容	5

<参考>

1. 国際勧告等との関係

本標準は、IETFにおいて制定されたRFC3558に準拠している。

2. 上記国際勧告等に対する追加項目等

2.1. オプション選択項目

特になし

2.2. ナショナルマター項目

特になし

2.3. 原標準に対する変更項目

特になし

3. 改版の履歴

版数	制定日	改版内容
第 1.0 版	2009 年 5 月 27 日	制定

4. 工業所有権

TTCの「工業所有権等の実施の権利に係る確認書」の提出状況は、TTCホームページで公開されている。

5. その他

(1) 参照する主な勧告、標準

IETF RFC: RFC1112, RFC2119, RFC2327, RFC3550, RFC3551

3GPP仕様: C.S0014 (1997), C.S0030-0 v2.0 (2002)

(2) 本出版は、具体的な規定内容を含んでいない。規定はすべて準拠元であるIETF RFCによっている。

具体的な規定内容はRFCを参照する必要がある。

6. 標準作成部門

信号制御専門委員会

1. 標準の概要

本標準は拡張可変速符号化方式(EVRC)の音声とモード選択可能音声符号化方式(SMV)の音声ための RTP ペイロード形式を記述する。異なるアプリケーションシナリオの為に2つの補助形式を規定する。バンドル/インターリーブ形式が音声品質に関してパケット損失の影響を低減し、1音声フレーム以上超える RTP ヘッダーのオーバーヘッドによる負荷を償却するために含まれる。非バンドル形式も会話型アプリケーションの為にサポートする。

2. 本標準で規定する内容

本標準で規定する内容は下記の IETF RFC による。

IETF RFC3558 : 「RTP Payload Format for Enhanced Variable Rate Codecs (EVRC) and Selectable Mode Vocoders (SMV)」